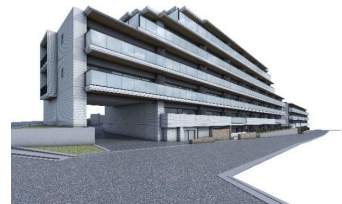


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市千里丘下A棟新築工事	階数	地上5F,地下1F
建設地	大阪府吹田市千里丘下	構造	RC造
用途地域	二中高、防火地域	平均居住人員	84人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年2月28日
敷地面積	2,000㎡	作成者	株式会社TOKI設計 石川愛樹
建築面積	980㎡	確認日	2020年2月28日
延床面積	3,852㎡	確認者	株式会社TOKI設計 鳴戸元基



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 建材にF★★★★をほぼ全面的に使用	Q2 サービス性能 Gbitクラスのブロードバンドを使用可能	Q3 室外環境(敷地内) 防犯カメラの設置
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 LCCO2 90%達成

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0171

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)吹田市千里丘下A棟 新築工事						
		建設地	吹田市千里丘下						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+		
①	CO2削減						3		
②	みどり・ヒート アイランド対策						3		
③	建物の断熱性						3		
④	エネルギー削減						5		
⑤	自然エネルギー直接利用						○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.3	3		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項		特になし							